NEWS LETTER

株式会社　ホロスプランニング

2026 3月号

HOLOS Planning
Part of HOWDEN

オフィシャルインフォメーション

ホロスグループ オールスタッフ ミーティングを京都で開催しました

2026 年 2 月 20 日（金）、京都ガーデンパレスにて、ホロスグループ各社の全スタッフが一堂に会する**「オールスタッフミーティング」**が開催されました。
本ミーティングは、グループのビジョン共有と相互理解を深めることを目的として、毎年開催されている重要なイベントです。全国のスタッフが京都に集まり、グループの現在と未来について認識を共有するとともに、部署や世代を超えた交流が行われました。

第一部では、ホロスグループ創業者・代表の堀井氏、ハウデングループジャパン代表の多田氏、そしてハウデンジャパン代表（兼ホロスホールディングス代表取締役会長）の大塚氏より、ホロスグループの今後 5 か年の計画について発表が行われました。
グループの目指す方向性、今後の成長戦略、そしてスタッフ一人ひとりに期待される役割について、直接メッセージが届けられ、参加したスタッフにとって大きな指針を得る機会となりました。

第二部では**「リーダー＆ルーキーズ」**と題し、各部署の業務内容の紹介と、新たにホロスグループへ加わったスタッフの紹介が行われました。日頃は異なる拠点や部署で業務を行うスタッフ同士が互いの役割を知ることで、グループ全体の連携をより一層強化する機会となりました。
第三部では、**「OMOROI グランプリ」**と題した大喜利大会が開催されました。昨年のスタッフミーティングで掲げられたスローガン**「ホロスから OMOROI を世界へ」**この言葉の通り、ホロスが大切にしてきた「OMOROI（おもろさ）」という価値観を体現する、ホロスならではのユニークなプログラムです。

今回のオールスタッフミーティングは、ホロスグループの方向性を共有するとともに、スタッフ一人ひとりがグループの一員としての意識を新たにする貴重な機会となりました。
ホロスグループはこれからも、「OMOROI」という価値観を大切にしながら、スタッフ一丸となって、より高い価値を提供し続けてまいります。

ライフコラム

ため息をつくと幸せが逃げる？

仕事や家事の合間、ふと「はぁ…」とため息が出ることはありませんか。「幸せが逃げる」と言いますが、実はこのため息、体にとっては大切なリセット動作だと考えられています。

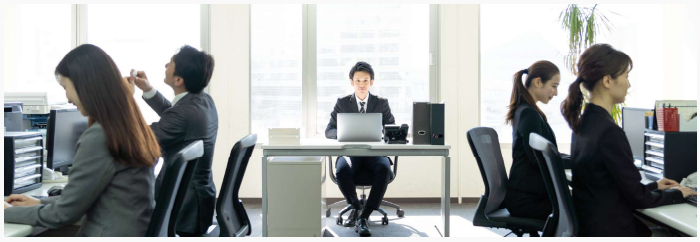
私たちの呼吸は、緊張やストレスを感じると自然と浅く、速くなります。すると体内の酸素と二酸化炭素のバランスが崩れ、心も体も“戦闘モード”になり、疲労を蓄積させます。ため息は、この乱れた呼吸を一度大きく吐き出し、元のリズムに戻そうとする、体の無意識な調整なのです。

深く息を吐くことで肺の奥まで空気が入れ替わり、自律神経の「リラックス」を司る副交感神経が働きやすくなります。つまり、ため息は「もう一度落ち着こう」「一旦力を抜こう」という、体からのサインとも言えるのです。
最近、深呼吸や呼吸法がストレス対策として注目されているのも、同じ理由です。忙しい毎日の中で、ため息を我慢して抑え込む必要はありません。それは、体が自分自身を整えようとしている証拠。そんなサインに気づいたら、少し肩の力を抜いて、次の一歩に備える時間にしてみてもいいのかもしれませんね。

ちょっと一息。ビジネス小話

会社の文化は「ルール」より「空気」で決まる

社内規程やマニュアルを完備しても、組織が思うように動かない――そんな経験をお持ちの方は少なくないのではないでしょうか。
もちろん、ルールや制度は組織運営の土台ですが、その土台の上で人がどう動くかを決めているのは、明文化されたルール以上に、現場に流れている**“空気”**です。

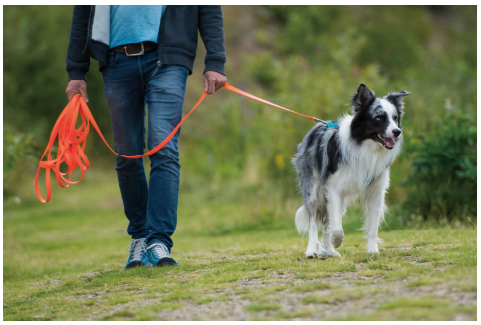


たとえば「会議では自由に意見を出しましょう」と書かれていても、最初に発言した人が微妙な反応を受けた瞬間、次の人は一気に口を閉ざしてしまいます。

また、「ミスは早めに共有して」と言いながら、報告した人が責められた職場では、隠蔽が暗黙のルールとなります。このように、空気は確実に学習されていくのです。
一方で、特別な制度がなくても、「それ、いいですね」「助かります」と自然な声が飛び交う職場では、心理的な安心感が、情報共有を加速させ、判断が早くなり、組織は効率よく回り始めます。
この“空気”は、意図的につくろうとすればするほど、不自然になりがちです。空気を変える近道は、新しいルールを増やすことではありません。返事のトーン、相談されたときの一言、最初の発言に返す相槌等の些細なやり取りです。そうした小さな積み重ねが、自然と企業文化をつくっていきます。

年度の節目を迎えるこの時期、今日の職場に流れる「空気」に目を向けてみてはいかがでしょうか。

知ってるようで知らない 保険のハテナ？



Q 飼い犬が散歩中に他人に吠えかかり、相手が驚いて転んで怪我をさせてしまった…。これって保険で対応できる？

A はい、**「個人賠償責任保険（特約）」**で対応できる可能性が高いです。

この保険は、日常生活で他人にケガをさせたり、物を壊したりして法律上の損害賠償責任を負った場合に備えるものです。ペットによるトラブルのほか、「自転車で買い物中に通行人と接触した」「買い物中に高価な商品を割ってしまった」というケースも対象になります。火災保険や自動車保険に特約として付いていることが多いので、一度チェックしてみるのがおすすめです。

このニュースレターは、ホロスプランニングが配信している
公式メールマガジンの内容を転載したものです。

ホロスプランニングでは、「お金・保険・健康」などの暮らしに役立つ情報や、当社の取り組みをご紹介するメールマガジンを配信しています。ご登録いただくと、このニュースレターの内容を毎月メールでお受け取りいただけます。ぜひ QR コードからメルマガ登録をご利用ください。

メルマガ登録はこちら

発行　株式会社ホロスプランニング
〒604-8152　京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町
659 番地 烏丸中央ビル 4 階
TEL：075-222-6700
FAX：075-222-2070
HOLOS Planning
Part of HOWDEN

HPH 260302-004-01